

東京藝術大学音楽学部

早期教育プロジェクト2023 in 仙台

木管楽器部門

2024年2月4日〔日〕 日立システムズホール仙台

11:00-11:50 講師陣によるミニ・コンサート（シアターホール）

テレマン：12のファンタジーから第8番 e-moll（オーボエソロ）

カユザック：アルルカン（クラリネットソロ）

ボノー：ワルツ形式のカプリス（サクソソロ）

シュトラウス：ティルオイレンシュピーゲルの愉快ないたずら（ホルンソロ）

スパーク：サーカス・マーチ（サクソ・ホルンデュオ）

11:55 開講式

13:30-14:20 楽器ごとのグループレッスン①

14:30-15:20 楽器ごとのグループレッスン②

15:40 閉講式

16:00 終了（予定）

※講師陣によるミニ・コンサートの録音・録画および写真撮影、SNS等への掲載は固くお断りいたします。

※グループレッスンは、途中の入退室は自由です。満席の場合、ご入室いただけない場合がございます。

※グループレッスンを受講するお子様（小・中学生）のプライバシー保護の観点より、取材関係者および本学公式スタッフ以外の会場内での録音・録画および写真撮影、SNS等への掲載は固くお断りいたします。

藝大と地域とが協働して取り組む、逸材発掘プロジェクト。2014年度に文部科学省国立大学機能強化事業の一環として始まり、藝大教員が日本各地に赴いて、子どもたちにレッスンをを行います。

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」は、音楽家を目指そうという子どもたちの夢を応援することを目的に2014年度に始まりました。全国のホールや自治体、さまざまな団体の皆さまに支えられ、また2018年度からは全日本空輸株式会社様からのご支援もいただいて、本学の教員が全国各地を訪れています。10期目となる2023年度は9都市での開催を予定しています。少子化や経済的理由による芸術家の道を歩む若者が減少し、しかもかなり早い段階で夢を断念してしまうという状況は簡単には変わるものではありません。しかし各地で子どもたちの瑞々しい感性とスポンジのような吸収力、来場した皆さまの音楽への熱量に触れるたびに、互いに刺激し合い音楽を深めることの意義を感じています。このプロジェクトが一つのきっかけとなって、夢へ向かう気持ちや音楽することの喜びが地域にいつそう広がることを心から願っています。

東京藝術大学音楽学部長 杉本 和寛

●ミニ・コンサート出演&グループレッスン講師



©Marco Borggreve

吉井 瑞穂 (オーボエ)

甘い音色と豊かな音楽性で世界の聴衆を魅了する国際派オーボエ奏者。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団でエキストラ奏者として活躍後、マラー室内管弦楽団首席奏者として欧州を拠点に活動。同楽団の設立者であるアバドをはじめ(共演200回以上)ヴァント、ブーレーズ、アーノンクール、ドゥダメルら世界的巨匠の指揮で演奏を重ねるほか、ソロや室内楽でも精力的な活動を展開している。共演者はテツラフ・カルテット、アンズネス、ラース・フォークトなど。ルツェルン祝祭管弦楽団設立メンバー。第49回JXTG音楽洋楽部門奨励賞。東京藝術大学准教授。



©Studio☆Di:VA

三界 秀実 (クラリネット)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、1989年同大学卒業。安宅賞を受ける。1991年東京藝術大学大学院を修了、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。東京都交響楽団首席奏者を経て現在東京藝術大学准教授。桐朋学園大学非常勤講師を兼任。東京クライス・アンサンブルのメンバー、アール・レスピラン同人等室内楽での活動も活発に行なう。2002年より宮崎国際音楽祭に、2006年より霧島国際音楽祭に参加。



©Ayane Shindo

本堂 誠 (サクソフォーン)

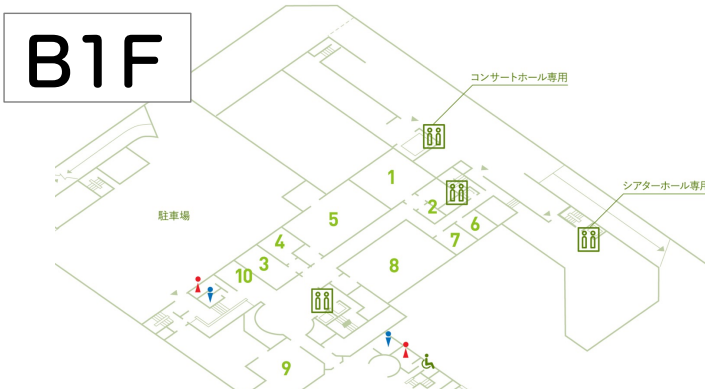
東京藝術大学、同大学院修了。パリ国立高等音楽院を最優秀の成績で修了。スロヴェニア国際コンクール、アドルフサクソ国際コンクール、アンドラ国際サクソフォンコンクール優勝、日本管打楽器コンクール第1位。現在、東京藝術大学講師。



日高 剛 (ホルン)

長崎大学を卒業後、東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院にてホルンを学ぶ。帰国後は広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を務めた。現在、東京藝術大学准教授。

●各レッスン会場図



- 1 (ビデオスタジオ) …クラリネット
- 5 (練習室1) …オーボエ
- 8 (練習室4) …ホルン

- 15 (シアターホール) …サクソフォーン